

令和5年第3回室蘭市社会教育委員の会定例会会議録（要旨）

日 時	令和5年6月1日（木） 10時00分～11時45分
場 所	2階大会議室
出席委員	阿知良委員長、三村副委員長、井形委員、加地委員、後藤委員、中村委員、藤原委員、山田委員
欠席委員	高田委員、高橋委員
事務局	伊藤教育長、坂口教育部長、山崎生涯学習課長、佐藤主幹、伏見図書館長、佐藤生涯学習課主査

<議事報告>

【日程1】

報告第1号 令和5年度室蘭市教育行政方針について

（事務局） 事務局より説明した。

（質疑応答）

（A委員） これまでの表現と大分変わっており、内容、文章ともに作成するのにご苦労なされたのではないかと思います。冒頭のロシアのウクライナ侵攻の記載については、エネルギーなどの価格高騰という内容で取り上げているが、これはどちらかというところと平和や命の尊重の話が一番最初に出てくるのではないかと。

（B委員） もう少し身近な子どもの現実の悩みみたいなものがある気がして、実際の子どもの悩みが、真ん中であつたほうがいいのかというものが全体の感覚としてある。まちづくりのために子どもをどう使いたいのかという外側の部分が全面に出すぎていて、もうちょっと日々の子どもの深い悩みに軸を置いているというのがわかつたほうが良いのではと感じた。

（C委員） 教育サポートセンターくじらんへの通室が困難な生徒のための新たな支援とはどういうものなのか。本人へのサポートの他に、周りの子どもたちが、本人の病気を理解するような教育をしていかないと本当の意味での解決にならないのではないかと。

（事務局） ここでの支援は、交通手段がなくて通室が困難な子どものために、路線バスを使って通うことが出来るようにバス代の支援を行うというもの。

本人がなぜ休んでいるのかということへの周りの理解に関しては、担任の先生などが説明してくれているとは思いますが、もし足りないということであれば、教育委員会から学校の先生方にお話することも出来るので、意見として出していただきたい。また支援に関しては、先ほど説明した通室の支援の他に、スクールカウンセラーや相談員を配置して、親御さんの悩みに寄り添えるような体制を少しずつ整える努力を今後も続けていきたいと考えている。

【日程2】

報告第2号 令和4年度室蘭市教育委員会所管施設利用状況報告について

（事務局） 事務局より説明した。

（質疑応答）

（D委員） 春休みにきらんのキッズパークに行ったところ、休館日で残念だったという話を聞いたことがあるが、休み期間中は開館することは出来ないのか。

（事務局） 長期休業にあたる夏休みと冬休み期間中は、通常の休みである火曜日も開館している。

- (E委員) 文化センターや市民会館の利用人数が増加しているのは、コロナ影響によるものなのか。それとも施設の存廃問題により、存続を求める声が増へつつつながっているのか。
- (事務局) 令和3年度はコロナによる休館期間があったため、単純比較することは難しい。また、文化センターの利用人数には、大ホール以外も含まれているため、そこを精査しないとイケない。

【日程3】

報告第3号 7月・8月の行事予定について

- (事務局) 事務局より説明した。
- (質疑応答) なし

【日程4】

報告第4号 室蘭市男女平等参画センター条例中一部改正の件について

- (事務局) 事務局より説明した。
- (質疑応答) なし

【日程5】

報告第5号 第3次室蘭市男女平等参画基本計画骨子(案)について

- (事務局) 事務局より説明した。
- (質疑応答)
- (A委員) 適切に改定されていると感じた。

【日程6】

報告第6号 室蘭市民俗資料館保管のアイヌ遺骨について

- (事務局) 事務局より説明した。
- (質疑応答)
- (A委員) 室蘭にある遺骨は、いずれは白老に行くということなのか。
- (事務局) 遺族の方々がいらっしゃって返還を希望し、特定できれば返還ということになるが、それがなければ、地元アイヌ協会の意向に沿って白老の慰霊施設に集約する予定となっている。

次回開催日 令和5年8月17日(木)